

平成28年度 楽しくスタイル

～夏祭を楽しみたい～「二部式浴衣」

二部式の浴衣



着脱しやすいように、上衣と下衣に分かれています。浴衣の合わせが開かないように、内側と外側にひもを付けて留めます。

着脱簡単な帯



帯は、マジックテープで留めることができます。リボン飾りは、裏側にクリップが付いており、取り外しができます。車椅子の胸ベルトに付いたり、帯に直接付いたりすることができ、いろいろな色やデザインでファッションを楽しめます。

胸ベルトが 帯に変身



上下に芯地を入れた帯布を車椅子の胸ベルトの上下に折り込んで固定することで、胸ベルトが帯に早変わりです。



巻きスカート風浴衣



下衣のウエスト部分は縞ゴムで、合わせの生地を重ねた状態でウエストを縫い付けた、巻きスカート型になっています。裾が大きく両サイドに開くようになっているので、トイレに行くときにも便利です。椅子に座ったときに裾が開かないように、前身頃の合わせ部分を深くしました。



BISHU.

津島 TSUSHIMA
MADE IN JAPAN

一宮市や津島市などの西尾張地域は毛織物の「尾州」として、高感度な生地を数多く世界に供給しています。

浴衣に使用した生地は、たて糸にウール、よこ糸に和紙糸を使った織物です。

冬のイメージが強いウールですが、「呼吸する繊維」と言われており、糸作りを工夫することで夏でも快適な着心地を実現できます。さらに、和紙糸の特徴である吸水速乾性とハリ感とを組み合わせることで、シャリ感を残しつつも腰のある、上品な浴衣地に仕上がりました。

